

都市再生整備計画(第2回変更)

金城ふ頭地区(第2期)

愛知県 名古屋市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	なごやし 名古屋市	地区名	きんじょう どうちく だい き 金城ふ頭地区(第2期)	面積	88	ha
計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度					

目標

- 広域からも人々が訪れるようなにぎわいと魅力のある新しい名古屋の名所づくり
- ・名所(交流拠点)にふさわしい歩行空間の形成を図る
 - ・物流拠点との調和を踏まえた自動車交通の円滑化を図る

目標設定の根拠

- 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
- 本地区は、市の南端に位置し、名古屋港の商港機能の中核を担う金城ふ頭にある。名古屋臨海高速鉄道西名古屋港線(あおなみ線)金城ふ頭駅が地区内にあり、伊勢湾岸自動車道名港中央インターチェンジに隣接する交通便利性の高い地区である。
- 本地区を含む金城ふ頭は、名古屋市都市計画マスタープランにおいても重点地域の1つとして位置づけており、モノづくり文化・技術の継承と発展を目指し、世界の技術・情報や人々が交流する賑やかな拠点を創出することを掲げる「モノづくり文化交流拠点構想」の実現を図るとしている。
- 本地区において、周辺の港湾物流機能と調整を図りながら、広域からも来訪者が訪れるような賑わいと魅力のある新しい名古屋の名所づくりを目指す。

まちづくりの経緯及び現況

- ・名古屋港のほぼ中央に位置する金城ふ頭は、多数の自動車が出入されるなど中部地方の重要な物流拠点となっている
- ・一方で、金城ふ頭は名古屋駅と直結するあおなみ線(平成16年開通)の金城ふ頭駅や、新東名・新名神高速道路等に接続する伊勢湾岸道路の名港中央ICから容易にアクセスできる利便性の高い立地であり、名古屋市国際展示場(昭和48年開館)、リニア・鉄道館(平成23年3月開館)、レゴランド・ジャパン(平成29年4月開業)などの施設には、多くの人々が訪れている
- ・令和4年度に名古屋市国際展示場の新第1展示館及びコンベンション施設開業を予定している
- ・本市は、金城ふ頭の高いポテンシャルを活かして、国際展示場のコンベンション機能の強化などにより、広域からも人々が訪れるようなにぎわいと魅力のある国際交流拠点の形成を目指しており、新第1展示館等の開業に併せて、歩行者デッキの基盤整備や自動車交通の適正な誘導を進めていく必要がある
- ・開発を推進するエリアは、平成14年10月に都市再生緊急整備地域の指定を一部受けている。(平成23年11月拡大)

課題

- ・リニア中央新幹線の開業を見据えた都市機能の強化、地域経済の活性化、エンターテインメント性など都市魅力の向上と情報発信の強化が本市に求められている
- ・地区は中部地方の重要な物流拠点であり、交通や土地利用などの面で物流機能との調和を図る必要がある
- ・国際展示場、レゴランド・ジャパン、リニア・鉄道館など集客施設が点在しており、地域の一体性を創出する必要がある

将来ビジョン(中長期)

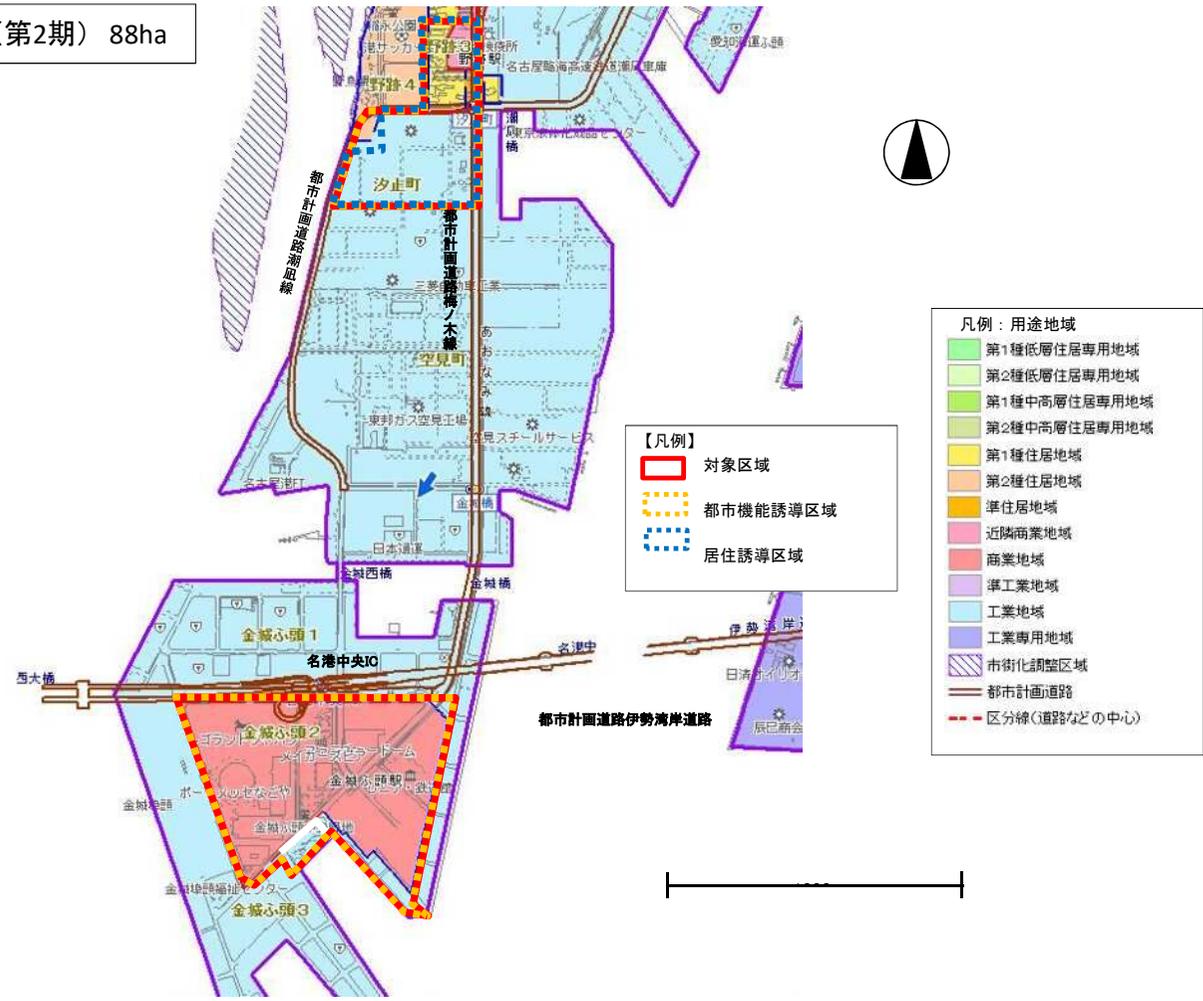
- 【名古屋市の総合計画2023(2019-2023)】
- ・施策「港・水辺の魅力向上をはかります」の中で、「金城ふ頭では、国際展示場の再整備によるコンベンション機能の強化や民間によるアミューズメント施設の開業など魅力向上を一体的に進めるとともに、域内の回遊性を高め、広域からも来訪者が訪れるような新しい名古屋の名所づくりを進めます」と掲げている
 - 【まちづくりの基本方針「名古屋市都市計画マスタープラン」(令和2年6月)】
 - ・「魅力ある賑わい空間の形成」の中で、「金城ふ頭は、民間事業者による商業・アミューズメント施設を中心とした複合的な都市開発が進んでおり、国際展示場とあわせて多くの人が訪れる交流拠点となっています。今後、国際展示場の建て替えを契機に、さらなる交流機能の強化をはかるための検討を進めていきます」と掲げている。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●名所(交流拠点)にふさわしい歩行空間の形成を図る 国際展示場及び各民間集客施設からなる名古屋の新しい名所を創出するため、あおなみ線、駐車場と各集客施設の間に歩行者が自動車と交錯することなく安全かつ快適に回遊することができる歩行空間を形成する。</p>	<p>【基幹事業】 ・地域生活基盤施設(人工地盤) ・地域生活基盤施設(情報板)</p>
<p>●物流拠点との調和を踏まえた自動車交通の円滑化を図る 国際展示場及び各民間集客施設の整備などにより増加する自動車交通に対応するため、物流機能との調和を図りながら、適正な交通処理を行うことにより交通渋滞の解消など自動車交通の円滑化を図る。</p>	<p>【基幹事業】 ・地域生活基盤施設(情報板)</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年(1965年) 金城ふ頭の埋立着手 ・昭和48年(1973年) 名古屋市国際展示場第1展示館オープン ・平成10年(1998年)3月 伊勢湾岸道路 名古屋南IC～(名港中央IC)～飛島IC(11.2km)供用開始 以降、順次供用開始 ・平成15年(2003年)3月 伊勢湾岸道路 みえ川越IC～四日市JCT(6.2km)供用開始により、東名阪自動車道と接続 ・平成16年(2004年)10月 あおなみ線(名古屋駅～金城ふ頭)開通(営業キロ15.2km) ・平成16年(2004年)12月 伊勢湾岸道路 豊田JCT～豊田南IC(7.6km)供用開始により、東名高速道路と接続 ・平成23年(2011年)3月 東海旅客鉄道株式会社がリニア・鉄道館を開館 ・平成23年(2011年)10月 民間企業が金城ふ頭を世界的なテーマパークであるレゴランドを核とした商業施設などの複合開発候補地として本市に正式交渉の申し入れ ・平成24年(2012年)10月 民間企業が金城ふ頭をレゴランドの対象地として正式決定 ・平成26年(2014年)2月 名古屋市営金城ふ頭駐車場に係る実施方針等の公表 ・平成29年(2017年)3月 名古屋市が名古屋市営金城ふ頭駐車場等を共用開始 ・平成29年(2017年)3月 GCDS JAPAN株式会社及び矢作地所株式会社がメイカーズ ピアを開業 ・平成29年(2017年)4月 LEGOLAND JAPAN株式会社がレゴランド・ジャパンを開業 ・平成29年(2017年)6月 名古屋市国際展示場新第1展示館整備事業に係る実施方針等の公表 ・平成30年(2018年)4月 LEGOLAND JAPAN株式会社がレゴランドホテル及びシーライフ名古屋を開業 ・平成31年(2019年)3月 名古屋市国際展示場新第1展示館整備事業に係る契約を事業者と締結 ・令和元年(2019年)6月 名古屋市国際展示場コンベンション施設整備事業に係る入札公告等の公表 ・令和元年(2019年)7月 レゴランド・ジャパンを一部拡張 ・令和2年(2020年)3月 名古屋市国際展示場コンベンション施設整備事業に係る契約を事業者と締結 ・令和4年(2022年)10月 名古屋市国際展示場第1展示館及びコンベンションセンターオープン 	

<p>金城ふ頭地区(第2期)(愛知県名古屋市)</p>	<p>面積 88 ha</p>	<p>区域 名古屋市港区の一部</p>
-----------------------------	-----------------	---------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

金城ふ頭地区(第2期) 88ha



金城ふ頭地区(第2期)(愛知県名古屋市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	広域からも人々が訪れるようにぎわいと魅力のある新しい名古屋の名所づくり ・名所(交流拠点)にふさわしい歩行空間の形成を図る ・物流拠点との調和を踏まえた自動車交通の円滑化を図る	代表的な指標	集客施設一体敷地面積 (ha)	36	(R1年度)	→	40	(R6年度)
			推計による地区への来訪者数 (万人/年)	310	(R1年度)	→	400	(R6年度)
			金城ふ頭駐車場利用率 (%)	73	(R1年度)	→	83	(R6年度)

